



社会福祉法人鶴風会 臨時後援会ニユース

昭和53年7月
社会福祉法人鶴風会
後援会
東京都武蔵村山市学園4-10-1
☎0425-61-2521
事務所・東京都中野区本町2-15-13
☎03-372-7650

鶴風会の活動に何かサービスを!

学校法人東邦大学理事長
東邦大学 教授 桑原章吾

この度社会福祉法人鶴風会の理事を勤めさせていただくことになりました。同窓生の活動の中でも最も医療の本質に沿ったこの法人の運営に参画して、何かのお手伝いができるかどうか、いささか気になります。東京小児療育病院は発足後しばらくの間、きわめて苦しい道を歩きました。その苦難は一応関係者の皆様の御努力で克服され、今は将来への明るい希望がもてる状態になってきたようです。そして今のうちに将来の発展に対する展望と目標をしっかりと固めておくことが必要です。東邦大学がそうであったように、これからの鶴風会の運営も幾つかの波に揺れ動くことでしょうか。そのような新しい波に対処するため、法人は常に新しい力を加えて法人の機能の老化を避ける処置をしなければなりません。東邦大学が額田先生の時代から新しい現在へ移行する過渡期に苦しい低迷の時期を耐えなければならなかったのも、一つには時代の流れに応じて新しい活力を注入するのを怠ったためとも考えられます。やっと運営の基盤が固まった鶴風会所属の両施設を

円滑に動かしてゆくのにいささかの低迷も混乱もあつてはならないとすれば、法人機能の活潑化は絶対不可欠の理事会の使命といえるでしょう。さて、私自身の参加が法人機能の老化防止に役に立つのだろうか——これには誠に自信がもてません。いつの間にか六〇才近くの年令に達した現在、知らぬ間に考え方の自由度が狭くなっていくかもしれせん。つまり、いくらかでも新鮮な感覚で法人の活動を細かく観察し、新しい力の注入に役立つ触媒の役割を果たすことが私の責任であるように思います。とりあえず、皆様方からいろいろ教えていただきながら、法人の動きをよく勉強したいと思っております。皆様のお力添えをお願いいたします。

私の抱負

社団法人鶴風会理事長
東邦大学 教授 柴田洋子(十九回)

昨年五月から社会福祉法人鶴風会理事に就任いたしました。本明理事長よりご推せんいただきました折、私も二十数年来難治な精神障害者の医療と研究にたづさわものの一環であり、心身障害のお子様やご家族の方々への理解も心得ておりますので、何がしかのお力添えができれば、それも私の使命と考えましてお引き受けいたしました。元来、東京小児療育病院は私共の諸先輩の積年のご努力により完成されたものでありますので、創立の時にお祝いをかねて施設を見学させていただきましたが、その後十数年多忙にまぎれてごぶさたしてしまいましたので、昨年夏、早速に病院を訪れました。さすがに建て物は古くなっておりまして、病院長をはじめ種々な職域にわたる従業員の皆様は活潑な活躍を目のあたりに拝見し、不自由な体にも打ちつてトレーニング

にはむづ子供たちや、医療を支えてゆく職員の方々の両方から流された汗が古い建物にまでしみ込んでいます。私に思え、尊さに胸を打たれました。私がこれからのようにこの医療系体の中で参加しうるか、またどのようにすべきか、今の段階ではもつと掘りさげてみたいと考えております。病院の当初からの理念は早期療育にあり、これは着実に行われてはいますが、患者の生活の問題、とくに重症者の場合の長期予後に關してこの種の病院がどう対応してゆくべきか、福祉対策とも関連し、また社会状況の推移とも関連して、多くの難問を含んでいるように思われます。私といたしましては、何よりも患者中心の視点を失わずに努力いたす所存でございます。後援会の皆様にも折にふれてご指導、ご支援を賜りたくよろしくお願ひ申し上げます。

後援会発足五周年を迎えて

社会福祉法人鶴風会理事
東邦大学 教授 五島瑛智子(二十一回)

社会福祉法人鶴風会東京小児療育病院を応援するために作られた後援会も、今年で五年目を迎えました。その間、皆様から多大の御協力、御援助をいただき、おかげさまで昭和四十九年秋、東京小児療育病院創立十周年記念の謝恩パーティをはじめと、映画の製作、バザー、ニュース発行など着実な歩みを続けてまいりました。とくに、映画「ともしびを高く」は皆様からの御寄附とヨネ・プログレクションの協力により、三年がかりで製作した療育病院の子供達の生活の記録であります。この映画は全国各地から上映の申込みがあり、多くの反響が寄せられました。東邦大学医学部では、新入生のフレッシュマンキャ

ンプ(オリエンテーション)の行事の中で、この映画を上映しておりますが、このような卒業生の社会福祉活動に、学生達は非常な感銘をうけ、キャンプ終了後のレポート中には多くの感想が書かれております。この施設は、東邦大学医学部の前身である帝国女子医学専門学校の第一回卒業生である龍知恵子博士が中心となって、同窓生が力を合せて削り上げたものです。したがってこの仕事が東邦大学の卒業生にうけつがれて行くことは創立に尽力

された方々の御意志でもありましょう。今年から法人の理事に、東邦大学理事長・桑原章吾氏、東邦大学教授・柴田洋子氏を迎えることになりました。私達の後援会もこれまで東邦大学卒業生が中核となり、さらに一般からも多くの御協力をいただいています。今後は、一層の発展を目指し努力したいと思います。会員の皆様は御礼と共にお願い申し上げます。

同窓の皆様へ

社会福祉法人鶴風会
常務理事 倉島摂子(十六回)

この度学校法人東邦大学理事長桑原章吾先生並びに社団法人鶴風会理事長柴田洋子先生が私共の社会福祉法人鶴風会の理事に御就任くださいました。専門学校の時代の一回生龍知恵子先生が同窓有志の諸先生と大変な御苦勞で武蔵村山市に幼少脳性マヒ療育の専門病院を建設されてからはや十五年になろうとし

ております。十一名の理事のうち八名まで東邦関係者でございます。東邦五十年史にもありますように、卒業生の力の結集で社会的意義のある医療に貢献する例は他の大学に類をみません。後援会は同窓生、一般の方はもとより、日本女医会の方の暖かい御支援のもと順

調に歩み続けておりますが、この仕事の円滑な運営そして今後の一層の発展は同窓の皆様のお力添えがなくては出来ぬこととさせていただきます。この趣旨を御理解いただき、一人でも多くの方が御入会くだされば幸いです。なおすでに会員として毎年御支援をいただき、又バザーの折にはお品物の御寄附、そしてパーティへの御出席と数々の御協力をいただいております諸先生にあらためて厚く御礼を申し上げます。

「あの手この手」バザー

■ 十月一日(日)開催予定

昨年(本年)もチャリティ・バザールを開催し、入院児の病室、訓練棟の整備にあてる計画でございます。つきましては、出品物(衣料、食料品、石けん、ペーパー用品、手芸品、その他お使いにならない品物)をご用意しましたら、是非御寄附賜りたくお願い申し上げます。

■ 日時 十一月十日(金) 午後六時

■ 場所 パレスホテル

■ 会員券 一万二千円予定

立川清登氏の司会、歌として品物つきの福引など盛り沢山のプログラムでございます。お誘い合せて、秋の一夜をおたのしみ下さいませ。

■ お問合せ・御連絡先
社会福祉法人 鶴風会後援会
TEL 〇三三三二七六五〇
〇三三三二一〇四三